

大桑 第100号 3月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目
よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

鍛冶ヶ谷市民の森

鍛冶ヶ谷市民の森は、これまでも何度かお知らせをしてきた鎌倉街道沿い(鍛冶ヶ谷2丁目)の緑地です。この市民の森については、以前の大桑新聞で、横浜市が平成22年3月に1.5haの緑地を買い取ったとお知らせしました(全体で約2.9haの緑地)。

今回はそれに引き続き、横浜市が平成23年1月に約1.4haの緑地を買い取りましたので、ここで改めてお知らせをします。これにより、横浜市は鍛冶ヶ谷市民の森をほぼ買い取ったこととなり、この緑地は市民の森として保全されることとなります。

鍛冶ヶ谷市民の森のように、まちの中にある緑は、栄区(横浜市)の魅力を高めるために必要なものになってくると私は考えています。たとえば、まちの中に緑があることにより、手軽に緑地を散策できるなど、そこに住む方の憩い・集う場所になっていきます。

最後になりますが、先月の大桑新聞も書かせて頂いたように、栄区にも大きい影響のある「つながりの森構想」などを基本として、栄区に残る緑をしっかりと守り、緑を栄区の魅力を高めるために活用できればと考えていますので、よろしくお願ひします。

大桑新聞

第100号(3月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okawa.net/>

E-mail : m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(3人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

1月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成22年度1月現在の政務調査費累計残高は一75,468円です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	1,7260円	事務費	17,823円
資料費	7,170円	事務所費	102,295円
広報・広聴費	367,355円	その他	0円
人件費	70,000円		

1月の支出合計は

581,903円です。

近況報告

今月の大桑新聞で、大桑新聞(市政報告)を発行し始めて100号目となりました。この大桑新聞は、2003(平成15)年1月から発行を始めました。この8年、皆さんに大桑新聞を手にとって読んで頂き、皆さんから様々な意見を頂戴しているおかげで大桑新聞を続けることができます。ありがとうございます。4月には選挙もありますが、大桑新聞は、4月以降も引き続き発行していきます。今後も大桑新聞をお願いします。

次に、平成23年第1回市会定例会(本会議)が、平成23年1月28日(金)から3月18日(金)の予定で開催されています。また、この第1回市会定例会開催中に、平成23年度の予算特別委員会が開催され、平成23年度の予算について議論をします。お時間がある方は関内にある市役所に足を運んで頂ければと思います。

さかえ次世代交流ステーションについて

大桑新聞12月号でお知らせをした「さかえ次世代交流ステーション」ですが、開所式が平成23年3月27日(日)に、そして営業開始が翌日の3月28日(月)からと決まりましたので、改めて、お知らせします。

次に、「さかえ次世代交流ステーション」の住所は「栄区桂町711」になっており、場所としては公田交差点や天神橋の近くとなっています。

最後に、「さかえ次世代交流ステーション」の機能ですが、子育て支援の機能、青少年の活動を支援する機能、そして障害を持つ方の居場所や相談機能など多くの機能(拠点)が集まっています。この「さかえ次世代交流ステーション」は、様々な世代、様々な方々が利用することにより、多くの交流が生まれることも期待されています。

つながりの森について

大桑新聞2月号でお知らせをした「つながりの森構想検討調査事業」ですが、その後、「つながりの森」の範囲が分かりましたので、改めて、お知らせします。

「つながりの森」は、円海山周辺の370haの森やその森につながる水緑などとなっているようです。具体的に栄区にかかわる部分は、瀬上市民の森、荒井沢市民の森、そして、いたち川を中心にした水緑になります。

上に書いた瀬上市民の森は、東急建設(株)が計画していた上郷開発と重なる部分もあります(現在、上郷開発は白紙に戻っています)。今後は、この点も含め、緑を守るためにしっかりと活動をしていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

横浜市立の学校の空調設備

昨年の夏の猛暑を受け、横浜市は平成23年度から平成25年度の予定で、順次、横浜市立の学校(小・中・高・特別支援)に空調設備(エアコン)を設置することとしました。

今回、空調設備を設置することとなった学校の数は、495校と非常に多くなっています。そのため残念ながら、予算上、平成23年度の夏までにすべての学校に空調設備を設置することができません。申し訳ありませんが、ご理解頂けるようお願いします。

大桑新聞

大桑新聞ではみなさまとともに、

栄区について考えていきたいと思っております。 [FAX:045-892-5187](tel:045-892-5187)